

和泉市上下水道耐震化計画(上下水道)

和泉市上下水道部 水道施設室、下水道整備課

策定 令和7年1月

1 目標¹

和泉市では、災害に強く持続可能な上下水道施設の運営・管理に向け、対策が必要な急所施設で、あり方について検討中の水道施設を除き、今後、令和7年度から令和11年度の5年間で耐震化を完了することを目標とする。

また、令和7年度から令和11年度の5年間では、防災拠点や避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等の耐震化を実施し、今後、概ね20年間で耐震化を完了することを目指す。

2 計画期間

令和7年4月～令和12年3月

3 下水道処理区域内における避難所等の重要施設²の設定(上下水道共通)

区分	下水道処理区域内における避難所等の重要施設(上下水共通)	
	施設数	施設名称
対象全施設数	42	和泉中学校、国府小学校、伯太小学校、黒鳥小学校、郷荘中学校、芦部小学校、和気小学校、北池田中学校、北池田小学校、いぶき野小学校、南池田中学校、南池田小学校、青葉はつが野小学校、光明台中学校、光明台北小学校、光明台南小学校、石尾中学校、北松尾小学校、緑ヶ丘小学校、信太中学校、信太小学校、鶴山台北小学校、鶴山台南小学校、南松尾老人集会所、南部リージョンセンター、南松尾はつが野学園、槇尾学園、(仮称)富秋学園、北部総合福祉会館、総合福祉会館、和泉市役所、上下水道部庁舎(中央受配水場)、消防本部・和泉消防署、中央消防署、市立総合医療センター、咲花病院、府中病院、咲花クリニック、光生病院、阪和いずみ病院、和泉中央病院、大阪母子医療センター
上下水道管路等の耐震性能確保済みの施設数(令和5年度末時点) ³	6	南池田小学校、青葉はつが野小学校、南部リージョンセンター、南松尾はつが野学園、中央消防署、市立総合医療センター
上下水道管路等の耐震性能確保の目標施設数 ⁴ (令和11年度末迄)	21	伯太小学校、郷荘中学校、芦部小学校、南池田小学校、青葉はつが野小学校、光明台中学校、光明台北小学校、光明台南小学校、南松尾老人集会所、南部リージョンセンター、南松尾はつが野学園、槇尾学園、(仮称)富秋学園、北部総合福祉会館、和泉市役所、上下水道部庁舎(中央受配水場)、中央消防署、市立総合医療センター、咲花病院、咲花クリニック、光生病院

¹ 目標は、水道事業者等と下水道管理者が相互に調整を行い、記載する。計画期間内に全ての対象施設で対策を実施することが困難な場合には、計画期間内に対策を実施する施設の選定方針や、計画期間外を含め全ての対象施設における対策実施時期の目安等についても記載する。

² 下水道処理区域内において地域防災計画等で定められている避難所や医療機関等、災害時に上下水道機能の確保が必要な重要施設をいう(緊急点検時における「特に重要な施設」と同じ定義)。

³ 重要施設に接続する水道管路(配水本管・配水支管、配水池～避難所等の重要施設)と下水道管路(避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路及びその途中にあるポンプ場)の双方の耐震機能を確保することをいう。

⁴ 耐震性能確保済みの施設数(令和5年度末時点)を含め、令和11年度末迄(計画期間は5年程度)に目標とする施設数をいう。

4 下水道処理区域外における避難所等の重要施設⁵の設定⁶

区分	下水道処理区域外における避難所等の重要施設	
	施設数	施設名称
対象全施設数	-	-
水道管路の耐震性能確保済み ⁷ の施設数 (令和5年度末時点)	-	-
水道管路の耐震性能確保の目標施設数 (令和11年度末迄)	-	-

⁵ 下水道処理区域外において地域防災計画等で定められている避難所や医療機関等、災害時に水道機能の確保が必要な重要施設をいう。

⁶ 水道事業者等が汚水処理施設の管理者等と調整を行い、汚水処理施設に関する耐震化の状況や計画等を確認した上で設定するものとする。

⁷ 重要施設に接続する水道管路（配水本管・配水支管、配水池～避難所等の重要施設）の耐震機能を確保することをいう。

◀ 和泉市上下水道耐震化重点計画のうち 水道事業等に関する計画 ▶

5 水道システムの急所施設の耐震化(上水道事業及び水道用水供給事業)

(1) 取水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ⁸
対象全取水施設	1	2,000	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	0	0	0
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	0	0

浄水施設のあり方について検討中のため、令和11年度末までに耐震化率 100%には至らない。

(2) 導水施設(導水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全導水管(令和5年度末時点)	0	230	170	400	0	58
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	230	170	400	0	58

浄水施設のあり方について検討中のため、令和11年度末までに耐震化率 100%には至らない。

(3) 浄水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ⁹
対象全浄水施設	2	12,000	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	1	7,000	58
耐震化目標(令和11年度末迄)	1	7,000	58

施設のあり方について検討中のため、令和11年度末までに耐震化率 100%には至らない。

(4) 送水施設(送水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全送水管(令和5年度末時点)	15,800	5,800	2,600	24,200	65	89
耐震化目標(令和11年度末迄)	17,700	5,800	700	24,200	73	97

浄水施設のあり方について検討中のため、令和11年度末までに耐震化率 100%には至らない。

⁸ 取水施設の耐震化率＝耐震対策の施された取水施設能力÷対象全取水施設能力

⁹ 浄水施設の耐震化率＝耐震対策の施された浄水施設能力÷対象全浄水施設能力

(5) 配水施設(配水池(配水塔含む)及び浄水池)

	箇所数(箇所)	有効容量(m ³)	耐震化率(%) ¹⁰
対象全配水池	22	59,506	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	17	51,786	84
耐震化目標(令和11年度末迄)	19	55,837	94

浄水施設及び施設内配水池のあり方について検討中のため、令和11年度末までに耐震化率100%には至らない。

(6) ポンプ所(取水、導水、送水及び配水ポンプ所)

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ¹¹
対象全ポンプ所	3	21,082	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	2	19,930	95
耐震化目標(令和11年度末迄)	3	21,082	100

6 避難所等の重要施設¹²に接続する水道管路の耐震化(上水道事業)

配水池～避難所等の重要施設までの水道管路(配水本管+配水支管)

(1) 下水道処理区域内における避難所等の重要施設

	管路延長(km)				耐震化指標	
	耐震管延長	耐震適合管延長(耐震管除く)	耐震適合管以外	計	耐震管率(%)	耐震適合率(%)
避難所等の重要な施設に接続する配水管(令和5年度末時点)	20	15	13	48	42	73
配水本管	10	3	0	13	77	100
配水支管	10	12	13	35	29	63
耐震化目標(令和11年度末迄)	33	15	0	48	69	100

(2) 下水道処理区域外における避難所等の重要施設

	管路延長(km)				耐震化指標	
	耐震管延長	耐震適合管延長(耐震管除く)	耐震適合管以外	計	耐震管率(%)	耐震適合率(%)
避難所等の重要な施設に接続する配水管(令和5年度末時点)	-	-	-	-	-	-
配水本管	-	-	-	-	-	-
配水支管	-	-	-	-	-	-
耐震化目標(令和11年度末迄)	-	-	-	-	-	-

¹⁰ 配水池の耐震化率=耐震対策の施された配水池有効容量÷対象全配水池有効容量

¹¹ ポンプ所の耐震化率=耐震対策の施されたポンプ所能力÷対象全ポンプ所能力

¹² 下水道処理区域外における避難所等の重要施設も含む

◀ 和泉市上下水道耐震化重点計画のうち 下水道事業に関する計画 ▶

9 下水道システムの急所施設¹³の耐震化

(1) 下水処理場(揚水、沈殿、消毒機能に係る施設に限る)

	揚水施設		沈殿施設		消毒施設		揚水、沈殿、消毒機能に係る全ての施設 ¹⁴	
	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	-		-		-		-	
耐震性能確保済みの箇所数 (令和5年度末時点)	-	-	-	-	-	-	-	-
耐震性能確保の目標箇所数 (令和11年度末迄)	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路¹⁵

	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	-	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	-	-
耐震性能確保の目標延長(令和11年度末迄)	-	-

(3) 下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までのポンプ場¹⁶

	ポンプ場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	-	
耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)	-	-
耐震性能確保の目標箇所数(令和11年度末迄)	-	-

¹³ 下水処理場並びに下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路及びポンプ場をいう。なお、流域下水道の下水道管路及びポンプ場については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

¹⁴ 当該列において、「対象全箇所数」には、揚水、沈殿、消毒施設のいずれかを有する対象の処理場の箇所数を記入する。「耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)」及び「耐震性能確保の目標箇所数(令和11年度末迄)」には、このうち、揚水、沈殿、消毒施設の全てで耐震性能を確保した処理場の箇所数等を記入する。その際、揚水、沈殿、消毒施設のいずれかを持たない処理場について、存在しない施設は耐震性能確保済みとカウントする。(例：揚水施設を持たない処理場について、沈殿、消毒施設が耐震性能確保済みであれば、カウントする。)

¹⁵ 流域下水道の下水道管路については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

¹⁶ 流域下水道のポンプ場については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

10 避難所等の重要施設に接続する下水道管路等の耐震化

(1) 避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路

	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	37	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	27	73
耐震性能確保の目標延長(令和11年度末迄)	29	78

(2) 避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路の途中にあるポンプ場¹⁷の箇所数

	ポンプ場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	-	
耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)	-	-
耐震性能確保の目標箇所数(令和11年度末迄)	-	-

以上

¹⁷ 最終合流地点にあるポンプ場は含まない。